

授業科目名	専門演習 ・ b	科目コード	G2603L05
英文名	Major Seminar I b		

科目区分	観光専攻科目 - 総合
------	-------------

職名	講師	担当教員名	一井 崇
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	金曜日	時限	2限目
開講時期	3年後期	授業の方法	演習
必修・選択	専攻必修	単位数	2単位

授業の概要	夏季休暇中に行った現地調査をまとめ、文化祭での発表を目指します。また各自の研究は前期の発表をベースにして、さらに内容を深めます。現地調査を通じて卒業論文へのアプローチを考えます。		
-------	---	--	--

キーワード	卒業論文構成			
-------	--------	--	--	--

到達目標	自分の研究、他の研究を比較検討することによって具体的な卒業論文をイメージできるようになる			

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）	
カリキュラムポリシー	観光に関する専門性の向上	専門性をさらに高める実習・演習

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	【現地調査のまとめ、データの解析と整理】	
	【予習】現地調査のデータをまとめておく	
	【復習】大学祭の発表に向けてイメージを固める	
第2回	【大学祭でのゼミ発表の準備】	
	【予習】各自のイメージを持ち寄る	
	【復習】ゼミとして、どのような発表にするのかをまとめる	
第3回	【大学祭でのゼミ発表の準備】	
	【予習】役割分担にしたがって準備をする	
	【復習】大学祭での発表の最終確認	
第4回	【学生の発表と討論（発表学生のテーマ設定、次への展開、資料収集について説明、討論）】	
	【予習】発表する学生は準備し、他の学生は下調べする	
	【復習】討論で得た意見をどのように自分の発表に反映させるか考える	
第5回	【学生の発表と討論（発表学生のテーマ設定、次への展開、資料収集について説明、討論）】	
	【予習】発表する学生は準備し、他の学生は下調べする	
	【復習】討論で得た意見をどのように自分の発表に反映させるか考える	
第6回	【学生の発表と討論（発表学生のテーマ設定、次への展開、資料収集について説明、討論）】	
	【予習】発表する学生は準備し、他の学生は下調べする	
	【復習】討論で得た意見をどのように自分の発表に反映させるか考える	
第7回	【学生の発表と討論（発表学生のテーマ設定、次への展開、資料収集について説明、討論）】	
	【予習】発表する学生は準備し、他の学生は下調べする	
	【復習】討論で得た意見をどのように自分の発表に反映させるか考える	
第8回	【学生討論の振り返り】	
	【予習】自分自身の発表と他の学生の発表を比較し、次回の発表がより良い発表になるにはどのような工夫が必要か考える	
	【復習】他の人の意見を参考に、自分の発表内容を再検証する	
第9回	【卒業論文に向けたテーマ設定に関する討論】	
	【予習】卒業論文のテーマ、調査計画、自分自身の進路について考えておく	
	【復習】	

第10回	【卒業論文に向けたテーマ設定に関する討論 】	
	【予習】卒業論文のテーマ、調査計画、自分自身の進路について考えておく	
	【復習】	
第11回	【卒業論文に向けたテーマ設定に関する討論 】	
	【予習】卒業論文のテーマ、調査計画、自分自身の進路について考えておく	
	【復習】	
第12回	【卒業論文に向けたテーマ設定に関する討論 】	
	【予習】卒業論文のテーマ、調査計画、自分自身の進路について考えておく	
	【復習】	
第13回	【卒業論文に向けた各自の大まかなテーマと方向性について発表】	
	【予習】卒業論文のテーマ、調査計画、自分自身の進路について考えておく	
	【復習】	
第14回	【卒論発表会の発表内容に関する討論(卒論発表会を経て)】	
	【予習】卒論発表会の感想と意見をまとめておく	
	【復習】自分の方向性を固める	
第15回	【1年間の総まとめと冬休み文献購読リストの決定】	
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	<p>授業への参加度（30％）、ゼミでの発表内容（60％）、現地調査での貢献（10％）</p> <p>ディプロマポリシーとの関連においては、人間性：10％、社会性：10％、専門性：80％で評価する。 到達目標に関しては、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。</p>		
使用資料 <テキスト>	必要に応じて、プリント等を配る。	使用資料 <参考図書>	
授業外学修等	後期は前期の研究を発展させることを目的とし、より主体的に調べることを心掛けてください。		
授業外質問方法	授業終了後、またはオフィスアワーに対応します。オフィスアワー以外でも、事前にアポイントを取っていただければ時間調整します。		
オフィス・アワー			